

学 校 給 食 課

1 基本方針

学校給食センターにおける衛生管理の徹底と施設設備の適切な維持管理により安全安心な学校給食の提供を目指すとともに、学校給食の充実及び学校における児童生徒への食育指導を図ります。

2 基本施策

(1) 安全安心な学校給食に向けての施策

ア 年間180回実施する学校給食をはじめ、様々な教育活動等を通じて食育を計画的に進めるとともに、保護者や市民等への啓発を行います。

- 栄養教諭等と連携した食や健康に関する指導の展開
- 児童・生徒による献立作りや調理体験等の実践的な活動の展開
- 給食の食材を選ぶ物資選定会議への学校や保護者代表の参加
- 調理員の学校訪問の実施
- 市民試食会や家庭教育学級での食育や学校給食の啓発
- 食育の日や学校給食週間等での学校給食の啓発
- 市や学校が開催する行事での学校給食の啓発

イ 国の第2次食育推進基本計画や第2次島田市食育推進計画等を踏まえ、次に掲げる数値目標の達成を目指します。

- 地元農産物使用割合40%以上
- 給食残食率4%

ウ 安全安心な学校給食を提供するため、国が定める学校給食衛生管理基準に基づき、施設設備や調理業務等の衛生管理を徹底していきます。

- 調理関係職員及び配膳職員等の保菌検査の実施
- 調理設備の衛生検査の実施
- センター内研修における衛生管理の改善指導等の実施
- 食材の細菌検査や放射能検査の実施
- 学校内の配膳室の訪問指導の実施

エ 地産地消推進事業は、現在の水準を維持しつつ、安全安心な食材の確保や生産者の顔の見える学校給食の提供を行っていきます。

- 地産地消推進連絡会の開催
- 島田市産農産物利用割合の向上に向けた献立の検討及び実施
- 学校の校内放送や掲示物による地場産品や生産者の紹介等の実施
- 生産者の学校訪問による農業や農産物栽培の学習機会の創出

オ 平成27年度2学期から開始した食物アレルギー対応食について、除去品目を乳製品・卵の2品目から6品目に増やしてきましたが、

今後も引き続き、アレルギー対応食の拡充に段階的に取り組んでいきます。

また、市内の児童・生徒の公平性を保つため、南部学校給食センター管内におけるアレルギー対応食の提供方法について、検討していきます。

カ 学校給食センターの円滑な運営と安定した施設管理の確立を目指します。

また、南部学校給食センターの改修と機器更新を計画的に進めます。

キ 職員の資質の向上に関する事業について、学校給食事業に関連する法令や基準を研修する機会を設け、技能や知識の習得を図ります。

- 調理員研修会の開催
- 民間委託業者との連絡会議の開催
- 栄養教諭・学校栄養職員、栄養士、調理員連絡会の開催
- 学校給食関係職員の合同研修会の開催

ク 市の行政経営戦略行動計画に基づき、学校給食への民間活力の導入を図り、学校給食センターにおける運営の合理化を推進します。

ケ 学校給食費の未納問題については、各学校との連携を深めながら、適正な納付の相談指導を行い、未納額の解消に努めます。

また、庁内の債権管理委員会からの助言を受け、債権回収に努めます。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	アレルギー対応食に関する説明	回	26	22
	栄養教諭等による食に関する指導（給食時間訪問）	回	55	53
	生産農家の学校訪問	人	20	15
	衛生研修会の開催	回	4	3
事業の成果 (アウトカム)	アレルギー対応食提供者	人	10	6
	給食残食率	%	4.0	4.12
	地産地消の推進（重量ベース）	%	40	36.98
	地産地消の推進（品目ベース）	%	40	36.36
	安全安心な給食提供回数	回	180	180

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・学校給食のメニューに島田産のお茶を使った献立を毎月の献立に取り入れ、子供たちに提供するとともに、お茶について食に関する指導を実施し、お茶に親しみを持つ機会を設けるなど、「島田市緑茶化計画」とともに地産地消を推進していきます。
- ・学校給食に取り入れている産物について、年間計画に基づき生産者による学校訪問を実施し、地場産物についての啓発を行い、地産地消を推進していきます。

社 会 教 育 課

1 基本方針

市民一人ひとりが自分らしく学び続けるとともに、その成果を十分に活かすことのできる環境を整えるために、地域・学校・家庭との連携・協働により、生涯学習機会の充実に努めていきます。

特に多様化、複雑化した地域課題を解決するために、地域への愛着を育んだ問題解決の意欲を持った担い手の育成に取り組んでいきます。

2 基本施策

(1) 生涯学習の充実

ア 生涯学習推進大綱の改訂

平成20年4月に策定した生涯学習推進大綱は、平成29年度に当初設定した概ね10年の計画期間が満了することから、平成28年度までにまとめた骨子（案）をもとに、生涯学習推進協議会等において引き続き検討し、年度末に改定を行います。

イ しまだ楽習センターの運営

価値観の多様化や高度情報化などを背景に市民ニーズは様々だが、そのような状況の中でも、生涯学習の推進を図るために、市民や社会的ニーズを的確に把握することに努めるとともに、趣味の講座から教養的な講座、地域で活動する人材を育てる講座が中心となるような体系にもっていくことが必要と考えます。

そのため、専門性や実績などを生かした新たな事業の企画・実施並びに情報の収集や発信が求められています。また、運営経費においても、経営の合理化や効率化による削減が求められています。よって、平成30年度から指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを幅広く活用しながら、センター利用者へのサービスの向上とコストの縮減を図っていきます。

ウ 東海道金谷宿大学の運営

金谷宿大学は、『教えたい人（教授）』と『学びたい人（学生）』の両者に活動の場を提供する生涯学習事業であり、平成29年度は100講座（教授69人）を開講する予定です。

また、新規の教授や学生の獲得、新規講座の開講、教授の高齢化における後継者育成といった課題を改善するため、平成28年度において運営の充実を図りました。引き続き、運営費徴収による広告宣伝の充実や特別講座の開催などを実施し、更なる改善のため事務局業務の運営の自立化も含めて検討していきます。

エ 公民館・公民館類似施設の運営

平成28年度から六合、初倉両公民館長として、係長級の正規職員を1人ずつ配置し、社会教育課、協働推進課、行政サービスセンター

(市民課) 3課を兼務し、公民館業務の一元化と機能強化を図っています。地域との連絡調整、地域課題の共有と解決に向けた取組、協働事業の展開等、地域と行政の交流拠点機能を担っており、今後は、公民館類似施設5館においても、地域の拠点強化について関係課と協議してまいります。

また、地域における生涯学習振興の拠点として地域住民の学習意欲を高める活動を推進するとともに、地域住民主体の自主事業を支援し、一層の利用者の増加を図ります。

そして、老朽化により修繕が必要な箇所については、計画的な予算執行により施設の維持管理を行ってまいります。

オ 野外活動センター山の家の運営

平成18年度から「NPO法人いこいの広場」が、指定管理者として管理運営を行い、自主イベントの開催やスポーツと文化合宿のPRなど工夫をこらした運営を行っています。

敷地内にある山林ののり面落石防止対策として平成29年度に工事を実施してまいります。

カ 山村都市交流センターささまの運営

平成22年度から指定管理者である地元団体の「企業組合くれば」が管理運営を行っており、体験メニューなどの自主事業や積極的なPR活動を実施しています。平成29年度は、国際陶芸フェスティバルの開催など、引き続き地域活性化の拠点施設としての役割を果たしてまいります。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	公民館等講座開催回数	回	950	910
	しまだ楽習センター講座開催回数※	回	1,040	1,240
	金谷宿大学次年度講座数	講座	105	100
	公民館等利用件数	件	9,600	9,550
	しまだ楽習センター利用件数※	件	3,590	3,900
	山の家宿泊件数	件	1,130	1,000
	ささま宿泊件数	件	630	570
事業の成果 (アウトカム)	公民館等講座参加延人数	人	17,550	16,800
	しまだ楽習センター講座参加延人数※	人	14,800	17,730
	金谷宿大学次年度講座学生数	人	1,300	1,200
	公民館等利用者数	人	167,200	165,920

事業の成果 (アウトカム)	しまだ楽習センター利用者数※	人	43,000	44,200
	山の家宿泊者数	人	8,000	7,080
	ささま宿泊者数	人	3,400	3,100

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

※しまだ楽習センターの指定管理移行準備及び講座運用改善のため前年を下回る目標数値とするものです。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・28年度及び29年度にかけて島田市生涯学習推進協議会において多角的に検討し作成した骨子案に基づき生涯学習推進大綱を全面改訂します。
- ・しまだ楽習センターに30年度から指定管理者制度を導入し、利用者へのサービスの向上とコストの縮減を図ります。

(2) 青少年の健全育成

ア 家庭教育の充実

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う家庭の教育力の向上を図るため、「初めて0歳児をもつ親の講座」や「幼児・児童をもつ親の講座」、「小・中学生をもつ親の講座」、「思春期の子をもつ親の講座」など各年齢層に応じた講座を開催します。また、家庭教育講演会の開催をはじめ、小学校及び幼稚園での家庭教育学級の開設や、私立幼稚園の保護者が参加できる家庭教育講座を新設するとともに、翌年度小学校へ入学する児童をもつ親を対象に親学講座の実施や、健康づくり課と連携し、子育ての悩みや不安を抱える親に対する支援プログラムを実施していきます。

なお、「子育て広場」については、引き続き、赤ちゃん専用の広場を開設し、ペアレントサポーターが、子育ての不安や悩みについて相談に応じます。また、ペアレントサポーターが独自に開催している自主講座について、支援していきます。

イ 子供読書活動の推進

島田市子ども読書活動推進計画（三次計画）に基づき、家庭や地域における子供の読書活動の推進を図るため、家庭教育学級等での読み聞かせ学習会の計画を促すことや、親学講座の中で親子一緒に本に親しむ大切さを引き続き伝えていきます。また、地域での読み聞かせ活動を促進するため、読み聞かせボランティアによる公民館等での親子ふれあいの場、親同士が交流できる場を提供するとともに、ボランティア同士の交流や育成、新規メンバーの加入・養成を進めていきます。

ウ 青少年育成支援センター運営協議会の運営

「地域の子どもは、地域で見守り育てる」施策を進めるため、育成補導委員による補導活動及び育成活動を推進するとともに、各小学校で実施している「子どもをまもる110番の家」の設置支援を行って

きます。なお、補導活動については、組織のスリム化とともに実施方法等を見直します。

また、生活安心課が推進する防犯まちづくりとの連携のもと、静岡県青少年育成会議と共催し、「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」及び「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会in島田」を開催し、地域社会全体で青少年の健全育成を推進する意識をさらに高めていきます。

エ 子ども・若者プランの推進

島田市子ども・若者育成支援計画「しまだ大井川子ども・若者プラン」については、平成23年度に策定された計画の見直しを計り、次期5ヶ年計画の策定を行います。

オ 子ども・若者支援地域協議会の運営

「島田市子ども・若者支援地域協議会」の実務者によるケース検討会を必要に応じて開催するとともに、要保護児童対策地域協議会などとも連携を図り、課題のある子供・若者に対する支援につなげていきます。また、ひきこもりなどに悩む若者やその家族への支援、加えて地域の支援者を養成するための講演会の計画、関係機関職員のネットワークを形成するための研修会及び情報交換会を開催します。並行して青少年相談窓口のより一層の周知を図り、子供・若者及びその関係者に対する的確な状況把握に努める中で、必要な支援につなげていきます。

カ 青少年育成事業の推進

日常生活の中で関係性が薄れつつある地域社会や自然とのふれあいの中で、異年齢で構成された集団活動を通じて、青少年の自主性や連帯性、社会性などを培うとともに、郷土への愛着心を醸成し「地域に貢献できる人づくり」を継続的に推進していきます。

- ・ 少年育成教室「しまだガンバ！」
- ・ 青少年リーダー養成講座「はばたけリーダー2017！」
- ・ 青年ボランティア講座
- ・ 通学合宿
- ・ 子ども会育成事業

キ 学校・家庭・地域の連携による教育支援事業

① 放課後子ども教室の開催

放課後における様々な体験機会の提供を行う安全・安心な居場所づくりを進めると同時に、心豊かでたくましい子供を地域全体で育むため、地域住民の協力を得る中で、今まで、初倉南小学校を拠点に実施した活動を地域の公会堂等に移して実施していく。

② 学校支援地域本部事業

学校への必要な支援を地域住民の参画により実現するために、引き続き島田第二中学校へコーディネーターを派遣し、学校ニーズと地域ボランティアのコーディネートや、特別な配慮が必要な生徒に

対する家庭教育支援を進めるための連絡、調整を行っていきます。

また、新たに初倉中学校区で、「しまだはつくら寺子屋事業」を立ち上げ、初倉小学校、初倉公民館を拠点に学習支援活動を中心に展開していきます。

ク 成人式の開催

新成人が一堂に会し、社会人としての責務や自覚を促し、今後の島田市を担う意識付けを行うため成人式を開催します。

○事務事業評価シートの目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	少年教室「しまだガンバ！」 実施回数	回	7	7
	放課後子ども教室実施回数	回	30	20
	街頭補導実施回数	回	200	205
	成人式若者会議開催回数	回	1	1
	家庭教育学級の学級生数	人	900	905
	家庭教育講座の開催回数	回	50	41
	親学講座の開催回数	回	18	18
事業の成果 (アウトカム)	少年教室「しまだガンバ！」 参加者数	人	40	39
	放課後子ども教室参加者数	人	30	28
	街頭補導延参加者数	人	730	800
	成人式の出席者率	%	78	73
	家庭教育学級の学習時間	h	290	275
	家庭教育講座の参加者数	人	1,200	1,856
	親学講座の参加者数	人	890	890

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・「私立幼稚園家庭教育出前講座」については、利用園が少ないことから、昨年で閉講し、新たに4回連続の「家庭教育講座」を企画することにより、広く園児の保護者に対し、多様な学びの機会を提供します。
- ・学校支援本部事業については、新たに初倉中学校地区に地域本部を立ち上げ、静岡県教育委員会から「しずおか寺子屋事業」の委託を受け、初倉小学校、初倉公民館を拠点に「しまだはつくら寺子屋事業」として、主に学習支援を展開します。

スポーツ振興課

1 基本方針

健康で明るく活気に満ちた豊かな市民生活を送っていただくため、「市民ひとりスポーツ」を目標に、子供から高齢者まで市民誰もが手軽に楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。

また、市民の健康づくりに必要な施設の整備を行うとともに、既存施設の維持管理と有効活用を図っていきます。

2 基本施策

(1) スポーツの普及・推進

ア 「ひとりスポーツ」を推進するため、地域におけるスポーツ活動を支援します。具体的には、島田市スポーツ推進委員と連携して、スポーツに親しむ機会を提供するため、総合スポーツセンター、金谷体育センター、川根体育館、小・中学校の体育施設等を利用し、各教室を開催することにより、誰でも気軽にできるニュースポーツを市民に普及・定着させます。

○ニュースポーツ教室の実施（ファミリーバドミントン・ビーチバレー・トランポウオーク・ママさん教室・ワンバウンドふらば〜る・室内ペタンク等）

イ 子供たちの基礎体力の養成やスポーツに親しむ場の提供のため、小学生を対象にスポーツ教室を開催します。また、こころと体を育て、スポーツの歓びを教える少年団活動を支援します。

○ジュニアスポーツクラブ事業の実施（陸上・水泳・ミニバスケットボール・バレーボール）

○少年団大会への支援

○3市（島田市、氷見市及び大町市）によるスポーツ少年団交流の実施

ウ 各地域や団体が主催するスポーツ教室等への指導員の派遣依頼に応じ、島田市スポーツ推進委員を当該指導員として派遣します。

○スポーツ推進委員派遣

エ 高齢者や障害者のライフスタイルにあったスポーツを楽しむ機会を提供するための支援を行います。

○総合型地域スポーツクラブ「プラスワン」の支援

○障害者大会開催の支援

オ スポーツ大会を開催する各スポーツ団体への支援を行い、市民スポーツの競技力や技術力の向上を図ります。

○各種スポーツ大会への支援（バスケットボール大会・バドミントン大会・ソフトテニス大会・インディアカ大会・水泳大会・9人制バ

レーボール大会・家庭婦人バレーボール大会・招待サッカー大会・
 スポレック大会・スポーツ少年団大会・元日マラソン大会)
 カ 市町駅伝への取組を支援します。

○事務事業評価シート的目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	ニュースポーツ教室の開催数	回	69	69
	ジュニアスポーツクラブ(教室)の開催数	回	80	78
	スポーツ推進委員派遣事業	回	20	16
	市主催スポーツ大会の開催	回	4	4
事業の成果 (アウトカム)	ニュースポーツ教室の延べ参加者数	人	1,300	1,200
	ジュニアスポーツクラブの実参加者数	人	160	143
	スポーツ推進委員派遣事業への実参加者	人	1,000	906
	市主催スポーツ大会への参加者数	人	3,000	2,944

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・ニュースポーツ教室について、子育てをしている比較的若い世代の方々を対象にした託児付きの「ママさん教室」を9月と2月の2期実施します。
- ・ニュースポーツ教室の新たな種目として、「ワンバウンドふらば〜るバレーボール」を実施します。
- ・島田市体育協会の組織強化及び独立に向けた取組を支援します。

(2) スポーツ施設の整備

ア 大井川緑地河川敷内のスポーツ施設・広場及び総合スポーツセンターについては、民間事業者への業務委託による管理又は指定管理業務による管理をしていることから、適切な維持管理を遂行するよう指導するとともに、利用者の安全性と利便性の向上を図るべく、緊急度や重要度等を勘案しながら改修・修繕事業を計画的に実施し、適切な維持管理に努めます。

○横井運動場公園・大井川緑地等管理運営事業

○総合スポーツセンター等施設管理運営事業

イ 「子供から高齢者までが、楽しく健康の保持増進ができる多目的ス

ポーツ・レクリエーション広場」を整備します。

整備スケジュールについては、エリアを年度別に区分し、その都度ワークショップ等を開催し、ニーズや意見を取り入れ、概ね3～4年を目途とした整備を目指します。今年度については、測量設計業務委託実施します。

○田代の郷整備事業

ウ 島田球場は築36年が経過し、施設や設備の老朽化が進み利用者の安全面に支障をきたしていることから、計画的に改修工事を実施します。

○島田球場施設改修事業

エ 島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）のメインアリーナについては、近年、屋内スポーツにおける熱中症対策が課題となってきたことから、利用者の健康面での環境改善として空調設備を設置するなど、利便性の向上を図るとともに、平成32年度に開催される東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致につなげていきます。

○島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）改修事業

○事務事業評価シートの目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	施設維持管理事業費	千円	268,722	276,763
	施設整備事業（工事等）	件	3	4
事業の成果 (アウトカム)	施設利用者数(社会体育施設)	人	1,154,000	1,132,000

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・施設維持管理事業について、総合スポーツセンター「ローズアリーナ」は、指定管理者制度を導入したことによる効果として、質の高い市民サービスが提供されてきています。その他のスポーツ施設は、民間に業務委託し適正な管理運営に努めています。今後も、施設利用者の安全と満足度の向上を図り、利用者数の増加を目指します。
- ・施設整備事業については、島田球場を含む横井運動場公園内の各施設設備の計画的な修繕・改修計画を作成し、利用者の安全性と利便性の向上を図ります。また、田代の郷・ローズアリーナについては、今年度測量設計業務委託を実施し、次年度以降から工事に着手します。

図 書 館 課

1 基本方針

身近で親しみがあがり役に立つ図書館を目指して、資料やサービスの一層の充実を図るとともに、すべての市民に「本に出会い、本に親しみ、本を生かす」機会を提供することにより、豊かな心の醸成を図ります。

2 基本施策

(1) 図書館サービスの充実

図書館では、図書館業務支援システムを導入し、蔵書検索や貸出・返却処理の時間短縮など利用者へのサービス向上を図っています。このシステムについては、今年度、島田図書館移転時に追加導入した機器のリース期間満了を迎えますが、平成31年度にシステムを全て更新できるよう再リースするなどの対応を取ります。また、地域の課題解決や情報収集・発信拠点としての機能向上を目指すとともに、新たなサービス事業を展開し、ソフト事業の充実を図ります。

図書資料については、利用者の多様なニーズに的確に対応できるよう、分野・分類や年齢層などのバランスを考慮して収集・保存に努めます。

利用者からの調査や相談等のレファレンスサービスについては、必要な参考図書の購入など機能面の充実を図るとともに、研修会等への参加による知識の吸収や実地での研修を重ね、職員の資質向上を図ります。

また、資料や情報の提供だけにとどまらず専門機関や専門家の紹介を行うなど、利用者の問題解決に的確な支援ができる体制づくりに努めます。

図書館から離れた地域の市民に対しては、身近な場所で図書館サービスが受けられるよう図書館業務支援システムを市内4施設に設置していますが、設置していない地域への新たなサービス事業の検討を進めます。

また、これらのサービスの充実を図るためにはマンパワーの確保が必要となることから、ボランティア育成のための研修会を開催し、図書館ボランティアを計画的・段階的に育成します。

障害者支援については、現在所蔵する点字図書に加え、平成28年度からマルチメディアDAISY図書の寄贈を受け、障害のある方への読書支援を進めることができました。このほか、静岡福祉大学図書館と連携した事業を行うことにより、障害者サービスの充実に努めます。

電子書籍が普及し拡大傾向にある中、電子図書館の導入については県立中央図書館を基幹とした県域共同利用を視野に検討を進めます。

このほか、魅力ある図書館講座を開催するとともに、文化課や社会教育課、子育て応援課など関連部署との連携を図り、多彩な講座、研修会、展示等を実施します。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	蔵書数	冊	440,000	429,089
	雑誌配架タイトル数	誌	250	247
	図書館講座等の開催回数	回	10	8
事業の成果 (アウトカム)	利用者数	人	180,000	174,497
	個人への貸出冊数	冊	590,000	574,345
	雑誌スポンサー提供タイトル数	誌	68	65
	レファレンス件数	件	9,000	8,682
	図書館講座等の参加人数※	人	200	233
	ボランティア登録者数	人	70	66

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

※図書館講座等の参加人数については、平成28年度に新川根図書館開館1周年記念事業を特別に開催したため、平成29年度は減少を見込むものです。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・図書館業務支援システムの地域館への設置については、平成28年度に配置場所の見直しを行い、金谷南支所、金谷北支所から大津農村環境改善センター及び北部ふれあいセンターに移設し稼働を開始しました。利用については、移設の効果は現れてきていますが、まだまだ地域へ浸透していないため、今後は、公民館と共同で地域への広報に努め、利用促進を図っていきます。

(2) 読書活動の推進

テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や子供の生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子供の「読書離れ」が指摘されています。これに対処するため、「島田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）」に基づき、子供を取り巻く読書環境の整備や読書機会の提供など、読書活動の推進に努めます。

乳幼児に対しては、「ブックスタート」の絵本贈呈を通じた家庭における読書啓発事業を引き続き実施するとともに、キッズブック事業については、会場での絵本の読み聞かせや図書館おはなし会へのお誘いなど、図書館へ足を運んでいただけるような内容を実施します。

読み聞かせグループなどによる「おはなし会」を定期的で開催することにより本と親しむ機会を提供するとともに、市内幼稚園や保育園へ出向いて開催する「おはなし宅配便」や川根図書館の「高齢者おはなし

会」などのアウトリーチサービスの分野においても積極的に取り組みます。

こうした読書活動においても、ボランティアを積極的に活用し、サービスの充実を図ります。

このほか、子供の読書意欲を高めるために導入した、読書記録を残すことができる「読書通帳」については、今年度の機器の更新に併せ、金谷、川根図書館へも記帳機を導入します。また、小学校での学校単位、学年単位での交付など、読書意欲向上を図るためのツールとして推進していきます。

学校図書館の支援については、担当教諭や学校図書館支援員等からの相談に応じ、授業支援、資料の購入・廃棄等のアドバイスをを行います。また、必要に応じて図書館職員を学校図書館に派遣します。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	ブックスタート・キッズブックの実施回数	回	48	48
	おはなし会の開催回数	回	130	126
	おはなし宅配便実施園数	園	23	21
	学校図書館支援の実施学校数	校	25	22
事業の成果 (アウトカム)	おはなし会の参加人数	人	2,350	2,274
	おはなし宅配便の参加者数	人	1,600	1,563
	読書通帳の交付冊数	冊	1,000	820
	学校への団体貸出冊数	冊	3,900	3,767

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・図書館へ来館していただくためのきっかけづくりとして、「ぬいぐるみの図書館おとまり会」の開催や「図書館福袋」等を実施しています。また昨年は「図書館おみくじ」を新たに実施しましたが、今年度は、これらに加えて障害児施設への訪問おはなし会の開催を計画しています。この他にも、新たな事業を計画し、図書館への誘客を図ることにより読書活動推進に努めます。

文 化 課

1 基本方針

市民ひとり一文化活動の実現に向けて心の豊かさを培う文化事業を幅広く展開し、市民の文化度を高めます。

自主文化事業を継続的に開催するとともに、活動の拠点となる文化施設の円滑な運営と適切な管理に努めます。

また、郷土の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集、保管、展示し、市民の利用に供するとともに市民文化の向上を目指す各種講座やイベントなどを展開し市民が集い、親しみ、交流する博物館づくりを進めます。

合わせて、市民の歴史を辿る貴重な財産である文化財の保護、保存、活用に努めるとともに文化財を地域で守り、育てる機運を醸成します。

2 基本施策

(1) 文化施設(プラザおおるり・金谷生きがいセンター・川根文化センター)の管理運営

プラザおおるりの管理運営については平成26年度から5年間、金谷生きがいセンターについては平成29年度から5年間、それぞれ「㈱まちづくり島田」に、川根文化センターについては平成25年度から5年間、「特定非営利活動法人NPOまちづくり川根の会」に、それぞれ指定管理者として管理運営を委任しています。

(2) 芸術文化振興事業の開催

従来型の鑑賞事業を最小限に留め、市民と文化奨励賞受賞者等との共演による事業や、イベントや施設・店舗などで市民の文化芸術活動者が出演する「街角ライブ」事業の推進、文化芸術の振興を目的とする学校や学習会などの事業にアーティストを派遣するアウトリーチ事業を実施しています。これらの事業を通じて、幅広い年齢層の市民がより身近に文化芸術に触れることのできる機会を提供するとともに、文化芸術を担う人材の育成を図るための事業を展開します。

また、2020年オリンピック・パラリンピック文化プログラムを促進するため、独創性のある文化・芸術活動を行う団体に対する補助制度により、引き続き支援していきます。

(3) 島田市民文化祭の開催

市民文化祭は、本年で60回目を迎えるに当たり、実行委員会と連携し、若年層や幅広い市民を取り込むことを念頭に検討を進め、市民の更なる文化力の向上と発展を図っていきます。

(4) 島田市芸術文化奨励賞の授与

芸術文化の向上に寄与した個人、団体を賞揚し、更なる文化活動の発展のため、制度の普及と対象者の発掘に努めます。

(5) 文化団体への支援

市民の文化・芸術活動の活性化を図るとともに、次代を担う人材の育成に努める文化活動団体を支援するため、補助金を交付します。

(島田市文化協会、島田市少年少女合唱団、島田市児童合唱団カナリヤ)

○事務事業評価シート of 目標数値

文化施設管理運営事業

(プラザおおるり・金谷生きがいセンター・川根文化センター)

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	開館日数(3館平均)	日	325	327
	施設管理委託費	千円	130,796	130,968
事業の成果 (アウトカム)	ホール利用率(3館平均)	%	50.0	49.4
	ホール以外利用率(3館平均)	%	26.0	25.0
	会館利用者数(3館計)	人	339,000	339,000

芸術文化振興事業・市民文化活動支援事業

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	芸術文化振興事業開催件数※	件	4	6
	島田市文化協会補助経費	千円	3,700	3,700
事業の成果 (アウトカム)	芸術文化振興事業入場者数※	人	1,700	2,480
	市民文化祭出品者数	件	700	667
	市民文化祭出演者数	人	1,400	1,226

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

※芸術文化振興事業の開催件数については、東海道街道文化創造事業終了のための減であり、これに伴い入場者数も減少することから、平成28年度実績数値から比べ、平成29年度目標数値を低く設定しています。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・施設の利用率については、他の文化施設に比べ、川根文化センターの利用率が低いことから、市の文化事業の開催や指定管理者独自の講座等の開催を増やすなどして、全体の数値の増加に努めます。
- ・市民文化祭については、学校や市主催の講座の参加者に対し呼び掛けを強化し、出品・出演者の増加に努めます。

(6) 展示会などの会催

博物館の展示は、企画展3回、特別展1回、収蔵品展1回を計画しています。

企画展では、東光寺文書や慶寿寺文書など静岡県内に伝えられる今川氏関係を通じて、島田市と今川氏の関係を探る「女戦国大名寿桂尼と今川氏」、平成27年度に島田市芸術文化奨励賞を受賞した郷土ゆかりの墨象作家、宮村弦の作品を紹介する「墨象作家 宮村弦」、島田市出身の書家森田安次を中心に彼と交流のあった書家たちの作品も併せて紹介する「森田安次と大井川流域の書家たち」を開催します。また、特別展として、今年で27回目を迎える紙をテーマにした「紙わぎ大賞展」の歴代優秀作品を紹介する「紙わぎパレードー絶景 紙わぎ大賞展ー」を開催します。収蔵品展としては、博物館が収蔵する絵画、工芸などの分野から「花鳥風月」をテーマに厳選した名品を一堂に紹介するとともに、作品を鑑賞しながら詠んだ俳句を募集する「花鳥風月～博物館で一句～」を開催します。

分館では、収蔵品展5回を計画しています。収蔵品展はテーマを「旅路の詩」とし、日本各地の古民家のある風景を題材にした海野作品を中心に紹介します。また本館での「花鳥風月～博物館で一句～」にあわせて、島田市出身の画家・永田治子が「花」をモチーフにした作品を中心に紹介する永田治子展「息する場所」も開催します。

そして、博物館により親しんでいただくため、「こどもの日」、「県民の日」、「文化の日」、「富士山の日」を観覧無料にして様々な催し物を開催します。

(7) 教育普及活動等の実施

郷土の歴史や文化、展示会に伴う講義などを中心とした博物館講座を開催します。また、小・中学校に出掛ける出前講座や民俗資料の貸し出し、市民向けの出前講座などの要望に応え、随時実施します。

体験学習は、機織り体験（月15回程度実施）や夏休み体験学習、年賀状木版画教室などを行います。このほか博物館における学芸員実習や中学生の勤労体験学習などを行います。

(8) 市史編さん事業の推進

島田、金谷、川根地区を調査対象として、緊急性の高い佐塚家文書及び旧島田地区を中心に悉皆調査を進め、金谷宿史料集(仮称)の発行を計画しています。

○事務事業評価シート上の目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	展示会の開催	回	10	9
	体験学習・イベントの開催	回	220	216
	図録刊行数	回	1	1
	市史編さん会議等の開催回数	回	36	36
事業の成果 (アウトカム)	観覧者数※	人	40,000	45,000
	博物館講座・イベントの参加者数※	人	6,200	7,000
事業の成果 (アウトカム)	発行図録の販売冊数※	冊	700	1,500
	解読した古文書数	件	1,600	1,600

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

※観覧者数、博物館講座・イベントの参加人数、発行図録の販売冊数については、平成28年度第69回企画展「島田の刀鍛冶と天下三名槍」展の爆発的ブームにのった集客によるもので、平成28年度実績数値から比べ、平成29年度目標数値を低く設定しています。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・企画展・収蔵品展等の展示・公開事業については、大井川流域の文化や歴史、美術、海野作品等調査、研究、収集した資料を基本に本館・分館で市民に興味を持たせ魅力的ある展示会を計画していきます。
- ・博物館運営全般については、市民に親しまれる博物館を目指し、学校教育と連携してワークショップ、体験学習、イベント、各学校単位の見学等について年間を通じて計画し、歴史や美術の学びの場を提供します。
また、本館・川越遺跡・分館と連携し、「ヒストピア島田」としてのエリア全体を活用し、島田の魅力を発信していきます。

(9) 文化財の保存と活用の推進

文化財の適正な管理・保存を図るため、指定文化財等の所有者（管理者）及び団体等への支援を行います。主な事業としては、市指定文化財である長谷川家長屋門の修理に補助金を支出します。

国指定史跡「諏訪原城跡」については、『諏訪原城跡整備基本計画』に基づきガイダンス施設の実施設設計を行います。また、国指定史跡「島田宿大井川川越遺跡」については、平成29年度から30年度の2ヶ年で川越遺跡整備基本計画を策定します。

埋蔵文化財については、包蔵地内における茶樹改植事業等の開発行為に対する緊急確認調査のほか、過去の発掘調査の成果を整理し、記録保存のため調査報告書を刊行します。

また、文化財に対する市民の理解を深めるため、学校への出前講座、

講演会や出土遺物等の展示などを開催し、愛護意識の普及や啓発活動に努めます。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	平成29年度 目 標	平成28年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	説明会・講座・展示等の開催数	回	28	27
	諏訪原城跡二の曲輪北馬出整備進捗率	%	55.0	50.0
事業の成果 (アウトカム)	説明会・講座・展示等の来場者数※	人	13,500	16,500
	諏訪原城跡来場者数	人	14,000	13,500

*平成28年度実績は、見込みの数値です。

※説明会・講座・展示等の来場者数について、平成29年度はお茶の郷博物館が休館中であるため、カタクリ園の見学者が減少する見込みであることから、平成28年度実績数値から比べ、平成29年度目標数値を低く設定しています。

【平成29年度目標達成プラン】

- ・諏訪原城跡整備事業において、発掘調査報告書を発行し、現在までの研究調査結果を公表します。
- ・市民の宝である文化財の保護、保全、活用のため、市民と考え、協働する機会を設け、文化財や地域への愛着を醸成していきます。